

サポーターズタイムズ Supporters Times



2007年(平成19年) 2月1日(毎月1日発行) **No. 139**

秋葉けんやサポーターズ事務所
自由民主党宮城県衆議院比例区第一支部
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

衆議院議員 **秋葉 けんや** 政策・活動レポート

購読料 年額6,000円
編集集 (株)アクトジャパン

『ダーウィンの悪夢』と『不都合な真実』



(IPCIバンコク会議にて、レスター・ブラウン氏と)

昨年参加した IPCI の国際会議でも環境問題は重要なテーマの一つであった。

先月から公開されている2つの映画、『ダーウィンの悪夢』と『不都合な真実』は、いずれもこの問題を傑出したドキュメンタリー映画だと思う。ひとつひとつの事実が様々な負の連鎖となり、やがて取り返しのつかない結末に至るという深刻なメッセージを発している力作で、まさに人類に対して警鐘を打ち鳴らしている。

『ダーウィンの悪夢』(フーベルト・ザウパー監督)～淡水湖では世界第2位の大きさを誇るアフリカ大陸のヴィクトリア湖。そこは、生物多様性の宝庫であることから「ダーウィンの箱庭」と呼ばれていた。その湖に、今から半世紀ほど前、ささいな試みから、新しい生き物が放たれた。

この大食で肉食の外来魚ニルパーチは、もともと生息していた魚の多くを駆逐しながら、どんどんと増え、状況は一変。湖畔の町にはニルパーチの一大魚産業が誕生し、周辺地域の経済は潤う。しかし、一方では、悪夢のような悲劇が生み出されていった。新しい経済が生み落とす貧困、売春、エイズ、ストリートチルドレン、ドラッグ、湖の環境悪化など、まるでドミノ倒しのように連鎖する。ニルパーチは日本にも輸出されている魚で、白スズキという名前で流通し、味噌漬けや白身魚フライとして、われわれがよく食べているものだそうだ。経済発展と環境保全の二律背反、あるいは資本主義経済の逞しいグローバリゼーションを実感させられる映画だと思う。

『不都合な真実』(デイビス・グッゲンハイム監督)～昨年秋の試写会に次男(小4)を引き連れて観にいった。言うまでもなくアルバート・ゴアは元米副大統領。彼は温暖化によって引き起こされる数々の環境問題に関するスライド講演を世界中で開き、地球と人類の危機を訴えてきた。北極はこの40年間に40%縮小し、今後、50～70年の間に消滅するといわれている。氷を探して100キロも泳いで溺死した北極グマの悲劇的なレポートも伝えられる。また、数百万におよぶ渡り鳥が温暖化の被害を受け、種の絶滅の割合は過去の記録の1000倍に達しているという。さらにこの四半世紀の間に、鳥インフルエンザやSARSといった奇病が発生していることなど、延々と事実を積み上げていく。ゴアが環境問題に突き進んだ本当の動機は、89年に6歳の息子が交通事故に遭い、1ヶ月間、生死の境をさまよった末、奇跡的に命を取りとめ、この時、将来の息子が生きる場所への危機感を強めたからだという点も共感できる。

「真実の中には、耳が痛いものがある。なぜなら、本当にそれらに耳を傾け、真実として認めてしまうと、あなたは暮らし方を変えなければならないからだ。その変えることが、かなり都合の悪い場合もある。しかし、私たちが日々の暮らしの中で小さな努力を重ねることで、地球を変えていける」と彼は訴える。もし、2000年の大統領選挙でゴアが勝利していれば、間違いなく歴史は変わっていただろうと確信させられると同時に、ワン・イシュー(ひとつの問題)にとことん徹底して取り組むことの崇高さと政治家としてのあるべき姿を学んだ。

衆議院議員 秋葉賢也
松下政経塾員



すべての人が暮らしやすい社会の実現に向けて！

『バリアフリー新法』成立！ ～高齢者・障害者に優しい社会へ～

今日の日本では他の先進諸国に例をみない急速な高齢化が進んでいます。2015年には、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となる高齢社会を迎えることになり、高齢社会対策が重要となります。また、わが国では、少子化も同時に進行しており、これまで経験したことのない人口減少社会を迎えています。高齢者や障害者の皆さんが、自らの意思で社会のあらゆる活動に参加できる共生社会の実現（ノーマライゼーション）も求められており、そのための自立支援策が不可欠となります。



そこで『高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）』が昨年の通常国会で成立、12月20日から施行されています。新法のポイントは次の通りです。

- ①対象範囲が、高齢者、身体障害者に加え、知的・精神・発達障害者などすべての障害者に拡充。
- ②対象施設が、これまでの建築物及び交通機関に加え、道路、路外駐車場、都市公園・福祉タクシーに拡大。
- ③バリアフリー化を重点的に進める対象エリアを、駅などの特定旅客施設を含まない地域に拡大。
- ④当事者の視点重視：基本構想策定には、高齢者・障害者・学者経験者・その他の市町村が認める者で構成される協議会制度を法定化。構想作成において、高齢者、障害者、地域住民が市町村に具体的に提案できる構想作成提案制度を創設。
- ⑤具体的な施策や措置の内容について関係者参加の下で検証し、当該結果に基づく新たな施策・措置を講じることで段階的・継続的發展をはかってゆくこと（スパイラル・アップ）の導入と、バリアフリー化促進に関する国民の理解を深め、バリアフリー化実施に関する国民の協力を求める「心のバリアフリー」の促進。

需要者のニーズに適合する施策をハード・ソフトの両面で充実させ、高齢者、障害者を含む全ての人が暮らしやすい社会（ユニバーサル社会）実現に向けて、全力で取り組みます。

教育

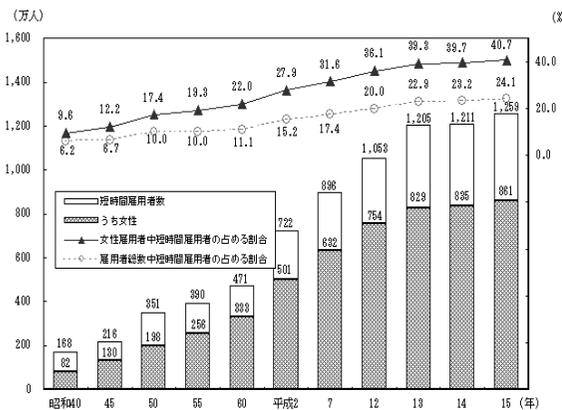
必要な施策を講じ、特別支援教育の充実を図ります！



盲・ろう・養護学校を、障害種別を超えた「特別支援学校」に改める等、特別支援教育について定めた改正学校教育法が今年の4月1日より施行されることを踏まえ、文部科学省は、全国の小・中学校に「特別支援教育支援員」を配置します。この支援員は、軽度発達障害など、教育上特別の配慮が必要な児童・生徒に対して、日常生活の介護や学習の支援を行うものです。各市町村では独自の予算で、既に「介助員」などを設置していますが、実際のニーズに対応できる人材確保が課題でした。今回の法改正により、「特別支援教育支援員」を配置する市町村を支援する形で、国から地方交付税交付金が交付されます。

国民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービス実現のため、法改正を含め必要な施策を提言して参ります！

働きやすい有効な『パートタイム労働対策』を促進！



(出所：総務省統計局「労働力調査」)

職場で正規の労働時間として定められている時間より1日、1週、1ヶ月あたりの労働時間が短い、パートタイム（短時間）労働者の需要は、左グラフからわかるように、高まっています。自分の都合の良い時間に働けるといったメリットがある一方、働き方に見合った処遇がなされなかったり、正社員への就職の機会が減少し非自発的にパートタイム労働に従事する人も少なくはなく、そのデメリットの改善が、日本経済全体の発展にとって重要となります。

- ①パートタイム労働者に対する適正な労働条件の確保、
- ②教育訓練の実施、福利厚生充実その他の雇用管理の改善、
- ③職務の内容、意欲、能力、経験、成果などに応じた処遇に係る措置の実施など、立法措置を含め必要な施策の実施に取り組みます！



安倍政権、初の通常国会スタート!

第166回通常国会が1月25日召集されました! 今国会は、安倍政権成立後、初となる通常国会で、平成19年度一般会計・特別会計・政府関係予算の他、改憲手続きを定める「国民投票法案」、「教育関連三法案」等の審議も、予定されています。

国民ニーズに対応した法案の成立をめざします!



決意も新たに登院!!

ご存知ですか? ~基本的に負担変化なし!~

1月から所得税(国税)が減り、 6月分から住民税(地方税)が増えます

三位一体の改革として、国から地方への財源移譲が今年から実施されます。そのため、ほとんどの方は、1月分から所得税(国税)が減り、そのぶん6月分から住民税(地方税)が増えることになります。負担ばかりが増えるという誤解が強いようですが、みなさんの負担は基本的に変わりません。

三位一体の改革は、「地方にできることは地方に」という理念の下、「国から地方への補助金・負担金を廃止・縮減」「地方への財源移譲」「地方交付税の見直し」を同時に行う改革を行い、国税から地方税へ約3兆円の財源移譲が実施されることに伴うものです。

モデルケース 税源移譲による負担変動(年額)

独身者の場合

給与収入	税源移譲前			税源移譲後			負担増減額
	所得税	住民税	合計	所得税	住民税	合計	
300万円	124,000円	64,500円	188,500円	62,000円	126,500円	188,500円	0円
500万円	258,000円	163,000円	421,000円	160,500円	260,500円	421,000円	0円
700万円	474,000円	307,000円	781,000円	376,500円	404,500円	781,000円	0円

夫婦+子供2人の場合

給与収入	税源移譲前			税源移譲後			負担増減額
	所得税	住民税	合計	所得税	住民税	合計	
300万円	0円	9,000円	9,000円	0円	9,000円	9,000円	0円
500万円	119,000円	76,000円	195,000円	69,500円	135,500円	195,000円	0円
700万円	263,000円	196,000円	459,000円	165,500円	293,500円	459,000円	0円

※夫婦+子供2人の場合、子供のうち1人が特定扶養親族に該当するものとしています。
※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。
★このほか、実際の負担増減額には、平成19年から定率減税が廃止される等の影響があることにご留意ください。

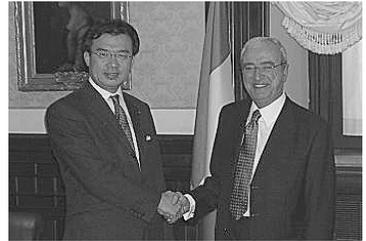
(表は、総務省資料より抜粋)

但し、景気回復による定率減税の廃止や、皆さんの収入の増減など別の要因で実際の負担額が変動する場合があります。

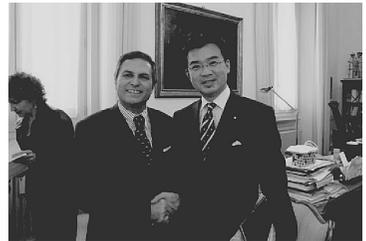
~日伊協力関係強化~ (イタリア事情最前線)

日本・イタリア友好関係促進議員連盟の幹事、友好促進議員団の副団長(団長は小坂憲次衆議院議員)として、1月6日よりイタリアを訪問して参りました。

宮城県とローマ県との間で姉妹都市協定が締結されていた関係で、県議時代にも、ローマ県との国際交流・友好関係樹立のため、ローマ県を訪れたことがありましたが、今回は、ローマ県に加えて伊国会議員との交流を深めてきました。



(マルティノー IPU 伊議員団長と)



(カレッキア・ローマ県内閣長と)

宮城県とローマ県の国際交流の一環として、イタリア名物の秋冬野菜「プレタレラ」(下写真)の種が宮城に持ち込まれ、現在、県内でも栽培され好評です。



『アニメージュ』を創刊し、宮崎駿アニメをプロデュースした尾形英夫さん(株式会社エム・エフ代表取締役)には2005年「新春フォーラム」でゲストとして講演いただいていたから親しくさせておりましたが、先月逝去されました。心からお悔み申し上げます。



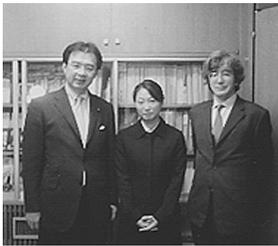
スタジオ・びえろにて
左が故尾形英夫さん

『アイアイ』を八木山動物園へ！ 麻生太郎外務大臣に陳情

昨年7月のアフリカ歴訪の際、マダガスカルの大統領や首相にマダガスカル固有種のお猿『アイアイ』を仙台市立八木山動物園へ寄贈下さるよう進言し、帰国後も八木山動物園への受け入れのため、積極的に取り組んで参りました。昨年12月23日には、仙台市の山浦副市長、庄子建設局次長と共に外務省を訪ね、麻生太郎外務大臣に、仙台市立八木山動物園へのアイアイの受け入れについて陳情して参りました。



(外務省大臣室にて)



マダガスカルの高等科学省省チンバザザ動植物公園に青年海外協力隊の隊員として派遣され活動されていた田中ちひろさん、仙台市立八木山動物園の永山飼育課長から、八木山動物園への「アイアイ」の受け入れについて意見を伺いました(国会事務所内にて)。

日中友好関係の促進と強化を！ ～秋葉代議士訪中実現～

日中友好関係の強化は、日本や中国にとって最も重要な課題であるばかりではなく、アジアの平和・発展にとって非常に重要な問題です。1月19日から三好彰後援会長(三好耳鼻咽喉科クリニック院長)のご紹介で、21世紀の日中関係強化・促進について意見交換するため、中国北京市を訪れ、清華大学国際問題研究所の劉教授、中国人民政治諮問会議全国委員会の徐地方工作部主任、全中国青年連合の湯副事務局長とお会いし、日中関係について率直に話し合いをしました。

(清華大学国際問題研究所 劉教授と)



劉教授より、一年に首相と国家主席が同一国を訪問した例はなく、今春の温家宝首相の訪日を実現すれば、胡錦濤国家主席の今秋の訪日は実現しないだろうという説得的な見解を伺いました。



火葉クラブの皆さんと(首相官邸) 及び(衆議院内幹事長室)見学

火葉クラブの皆さんのご参加を得て、官邸見学、院内及び党内幹事長室見学を実施いたしました。総理大臣官邸は、千代田区永田町にあり、執務、迎賓及び住居の3機能を有する総理大臣の「館」で、



現官邸は平成14年4月から運用が開始されたものです。当日は、ご多用の中、塩崎恭久内閣官房長官が参加者の皆さんとの記念撮影に快く応じて下さり、とても有意義な官邸見学を実施することができました。

(入閣時の記念撮影の際に使用される階段にて)

秋葉 賢也(あきば けんや)プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、44才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 現在、衆議院議員(二期目)。

【衆議院所属】文部科学委員会委員、災害対策特別委員会理事、行政改革特別委員会委員

【自民党役職】厚生労働部会副部会長、総務部会副部会長、国際局次長、青年局次長、拉致問題対策特命委員会幹事、外交力強化に関する特命委員会委員 他

【その他】宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問、保護司、宮城県土地家屋調査士協会顧問 他

- 著書：「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

